

大会要綱

- 大会名 平成 29 年度あつぎ鮎まつり厚木杯争奪親善学童軟式野球大会
主催 厚木市少年野球協会学童部
後援 厚木市教育委員会
神奈川県少年野球連盟学童部
- 募集チーム数 レギュラーの部 48 チーム (予定)
- 開会式会場 荻野運動公園競技場 (厚木市中荻野 1500)
- 大会日程 7月16日(日)開会式、
日産 AB 三田 FG 飯山 他 1回戦 28 試合
7月17日(月・祝)2回戦 16 試合
飯山グランド AB、 及川球技場 AB、他
7月23日(日)3回戦 8 試合、
厚木市営 他
7月29日(土) 予備日
猿が島球場、他
7月30日(日) 準々決勝 4 試合
未定
8月6日(日) 準決勝、決勝
及川球技場
8月11日(木)予備日
未定

本年度はグラウンド確保が困難な状況です。抽選会までには確定致します。

雨天等で日程調整が出来ない場合、平日/土日/祭日のナイター試合もあります。

- 参加資格 ・平成 29 年度神奈川県野球連盟、県スポーツ少年団のいずれかに登録した
チーム(合同チームは認めません)
・登録可能選手 小学3年～6年生

問い合わせ 鈴木 俊尚

メール suzuki-toshinao@jvc-victor.jp

携帯 090-9306-4653

平成29年度あつぎ鮎まつり厚木杯争奪親善学童軟式野球大会概要

大会名 平成29年度あつぎ鮎まつり厚木杯争奪親善学童軟式野球大会
主催 厚木杯争奪親善学童軟式野球大会実行委員会
後援 厚木市教育委員会

募集チーム数 レギュラー 48チーム
開会式 7/16(日) 厚木市荻野運動公園競技場 (厚木市中荻野1500)
7時00分 駐車場オープン
7時15分 受付開始・・・受付後、第1試合のチームは写真撮影
8時00分 開会式
※ 団旗、プラカード持参
※ スパイクは履かないでください
※ 雨天の場合は開会式は荻野運動公園内 体育館で行います。

試合日程 7/16～8/6

大会日程 7月16日(日) 開会式、荻野運動公園陸上競技場 8:00～
開会式終了後、下記会場へ移動
日産AB 三田FG 飯山 他 1回戦28試合

7月17日(月・祝) 2回戦16試合
飯山グラウンドAB、及川球技場AB、他

7月23日(日) 3回戦8試合、
厚木市営 他

7月29日(土) 予備日
猿ヶ島球場、他

7月30日(日) 準々決勝 4試合
未定

8月6日(日) 準決勝、決勝
及川球技場
8月11日(木) 予備日
未定

閉会式 決勝戦終了後

グラウンド
飯山グラウンド
日産グラウンド
厚木野球場
三田FG
猿ヶ島野球場
南毛利スポーツセンター
及川球技場
市内小学校/他

天候判断 開会式 6時00分
1日目の試合グラウンド担当に確認
2日目以降 6時30分 グラウンド担当へ電話にて確認
※ 電話は各チーム1名にしてください

試合球 ケンコーC球を各試合2個ご用意ください

大会申し合わせ事項

- 1 監督主将会議又は代表者会議で定められた事項は、チーム全員に徹底させる
- 2 大会の使用球は「ケンコー公認ボールC号」とする。
- 3 原則としてベンチは組み合わせ番号の若い方を「1塁側」とする。
- 4 試合中ベンチに入れる者は、次の通りとする。
[代表者・監督・コーチ2名・スコアラー・選手20名以内。但し、いずれも大会参加申込書に登録されたものである事。]
- 5 攻守は、大会役員又は審判員立会いの下でその都度決める。
- 6 次に試合を行うチームは、前の試合の45分経過時又は3回終了時に本部にメンバー表「3通」を提出して攻守を決めておく事。
- 7 前の試合が早く終了、または天候の様子によっては試合開始時間を予定より早めることもある。責任者は前の試合の進行に注意する事。
- 8 試合開始予定時刻30分前になっても、会場にこないチームは「棄権」と見做す。
- 9 試合は、7回又は1時間30分を超えて次のインニングには入らない。
降雨・日没等の事項による正式試合は「5回終了時」に成立する。
- 10 延長試合については次のように定める。
 - ① 7回又は制限時間内で同点の場合は特別ルール(タイブレイク方式)とする。通常延長は行わない。時間はすべての会場にて本部時計で計測とする。
例……1時間30分を超えて同点の場合、特別ルール(タイブレイク方式)とする。
例……7回が60分で終了し同点の場合、特別ルール(タイブレイク方式)とする。
- 11 規定回数または時間が経過しても勝敗の決しない場合の特別ルールは次のように定める。
 - ① 特別ルールは継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、以下2塁・走者を順次前の打者(投手は除いてもよい)として、無死満塁の状態にして1インングを行い得点の多い方を勝ちとする。なお勝敗の決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。
 - ② 特別ルールを2回繰り返しても勝敗の決しない場合は「抽選」とする。
- 12 得点差によるコールドゲームについては、次のように定める。
 - ① 3回以降10点差以上、5回以降7点差以上、又は、後攻がその得点差なった時点で試合を打ち切る。
 - ② 決勝戦は3回のコールドゲームは適用しない。
- 13 投手の投球回数の制限を次のように設ける。
 - ① 投手が1日を通して投球できる回数を7回以内とする。
 - ② 打者への投球の有無にかかわらず、1回とする。
 - ③ 特別ルール適用時は「7回」に含めない。(最大9回が可能)
 - ④ 投球回数のカウントは大会本部が行うが、相手チームのアピールを認める
- 14 試合前のシートノックは行わない。また、相手チームを誹謗したり、やじ・してはならない。また、審判員の判定に対して暴言を吐いてはならない。
(そのような態度をとってはならない)
応援の父母等も含めて、審判員・大会役員はこのような行為を行う者を「退場」させることがある。
なお チームの父母も含め、その責任は監督にあるものとする。

- 15 試合迅速化のため選手の交替は、主将(監督)又は当該選手が球審に申し出て攻守交替は迅速に行う事。投手は必ずプレートに足をつけて捕手のサインを見る事。又、打者は速やかに打席に入り、みだりに打席をはずしてはならない。
- 16 ファールボールは攻守に関係なく、1塁側に飛んだ球は1塁側チーム3塁側に飛んだ球は3塁側チームが拾う事。バックネットの周辺に飛んだ球は、攻撃側チームが拾う事。
- 17 監督・コーチは、選手と同じユニフォームを着用し、背番号は監督「30」コーチ「28・29」番とする。違反の場合はベンチ入りを認めない。
- 18 代表者・スコアラーの服装は特に定めないが、選手と同じ帽子を着用しスポーツにふさわしい服装とする事。但し、ユニフォームの着用(上下問わず)は認めない。代表者の帽子は支部役員の帽子でもよい。
- 19 選手・監督・コーチ等ベンチに入る者は、ゴム底のスパイクシューズとする。監督・コーチは同色のスパイクを履くこと。違反者はベンチ入りを認めない。
- 20 投手は変化球を投げてはならない。審判員が変化球と判断した場合は「ボ-とコールする。また、極力投手の連投はさけること。打者・走者・コーチャーはヘルメットを着用する事。各チームヘルメットは最低7個用意する事。
- 21 試合中降雨による試合続行・中止・成立等は審判団の判断に委ねるものとする。試合が成立していない場合は「サスペンデッドゲーム」とし、後日続きを行う。
- 22 試合中、極めてやむをえざるアクシデントにより、5分以上試合を中断した場合審判団の判断により、中断された時間を制限時間に付加することがある。
- 23 試合開始の時挨拶を行うので打者は打席に入る際、帽子を取って挨拶しなく-
- 24 試合開始・終了の挨拶は、ベンチにいる全員もベンチ前で起立して同時にイ
- 25 試合終了後、相手ベンチ・本部席への挨拶はしなくてよい。次の試合を速やかに行うため、できる限り早くベンチを明け渡す事。
- 26 グラウンドによっては、危険防止のため「グラウンドルール」を採用することが
- 27 水分補給等の為チームの母親2名をマネージャーとしてベンチ入りを認め、母親のみでコーチ、父親のベンチ入りを認めない。マネージャーは試合中に監督・コーチ、選手へ指示を出してはならない。監督・コーチはマネージャーに対して選手の体調、健康に関する以外の内容を尋ね、または指示してはならない。審判印・大会役員は違反を発見したと認めた場合は、該当者を退場させる事が出来る。
- 28 その他については、「今年度公認野球規則」「今年度全日本軟式野球連盟競技者必携少年学童部の項」を適用する。

審判員の服装について

1) 服装について

- ① 神奈川県少年野球連盟学童部の公認審判服。
- ② ①が用意できない場合は、各支部の公認審判服。
- ③ ①②とも用意できない場合は、白のYシャツかポロシャツに紺又はグレーのズボンとし、シャツはワンポイント程度のマークがついていても構わない。
- ④ 帽子は「審判帽」、靴は「審判靴」を基本とする。
「運動靴(黒色)」でも構わない。
- ⑤ ユニフォームやジャージ・チーム帽子で審判を行うことは認めない。
上記①②③④以外の服装にて審判をしている審判員のチームは、次回大会以降の参加を認めません。
割り当ての審判を行わないで帰った場合も次回大会以降の大会への参加を認めません。
厳しい服装の規定ですが、神奈川県大会に準ずる形で大会運営を行い、県大会的な雰囲気ですら試合を行って、思い出の一つとして残る大会にしていきたいという第1回大会以来の目的があることもご理解のうえ参加する子どもたちのためにも、大人が率先してルールを守ってご協力くださるようお願い致します。

2) 各チーム2名のうち1名は「球審」のできる方の参加をお願いします。

当該チームにて話し合い、球審を決めてください。

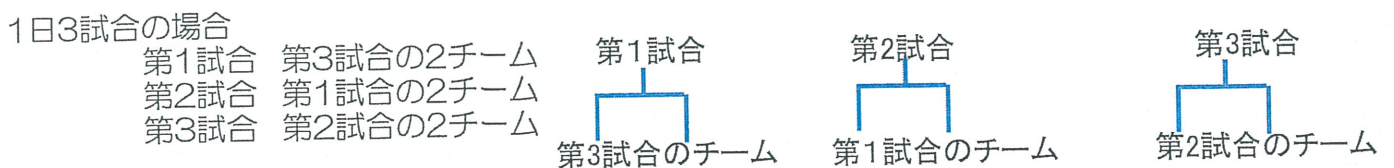
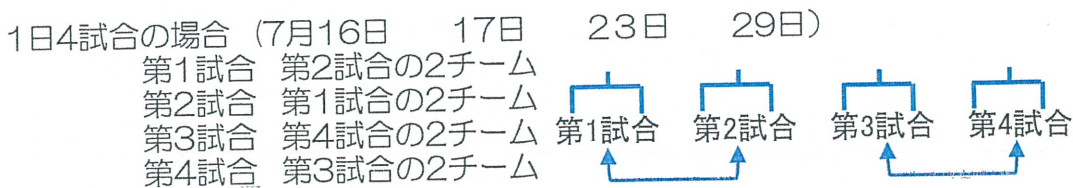
球審および2塁塁審チームと1塁塁審および3塁塁審のチーム

次の試合をスムーズに行うため、前の試合の3回裏終了時もしくは40分経過時までに大会役員(厚木市)に審判員の氏名をお知らせください。

3) 準決勝、決勝の審判は厚木市少年野球協会審判部が行います。

大会以来の目的があることもご理解のうえ、参加する子どもたちのためにも、大人が率先してルールを守ってご協力くださるようお願い致します。

審判当番表

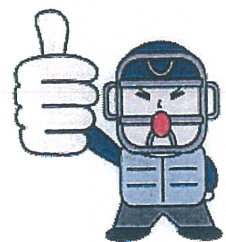


組合せ抽選番号の小さいチーム (1塁側チーム) が球審および2塁塁審

組合せ抽選番号の大きいチーム (3塁側チーム) が1塁塁審および3塁塁審

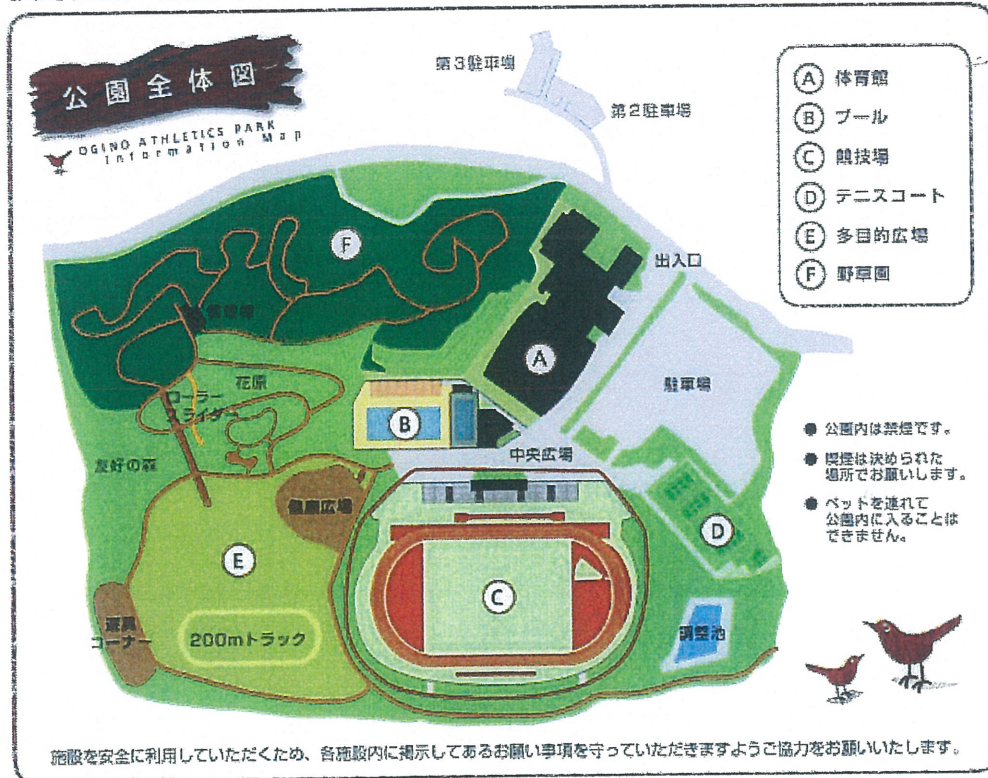
ただし、当該チームにて話し合い、球審を変更しても差し支えありません

準決勝、決勝の審判は厚木市少年野球協会学童部の審判部が行います

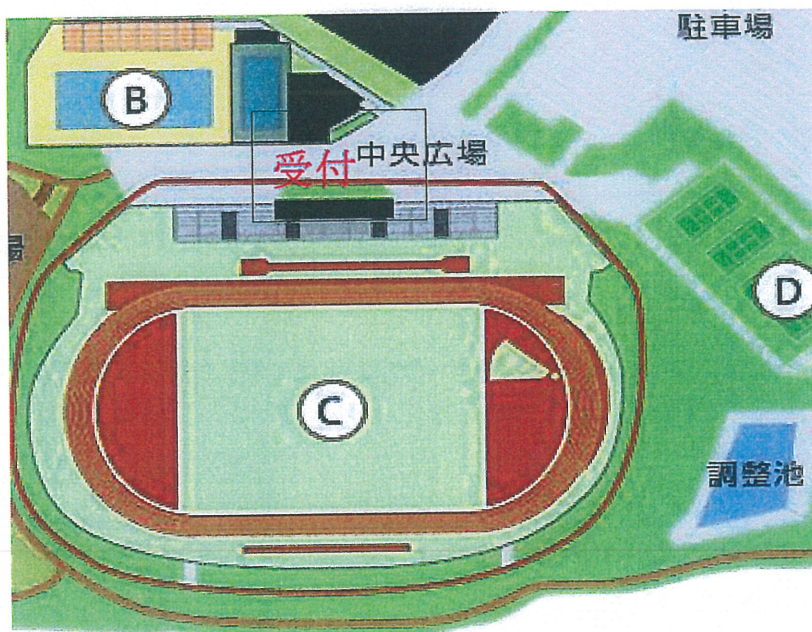


開会式

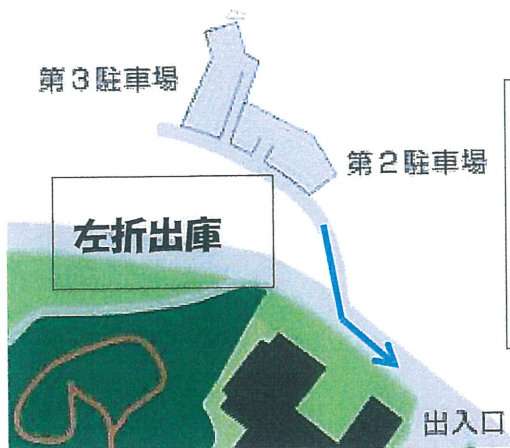
荻野運動公園見取り図



受付



駐車場 パターン 2



駐車カードを見せ、誘導員の指示に従ってください。

開会式終了後は左折にて出庫してください